

平成 30 年度 砺波高等学校アメリカ研修報告書 (5 日目)

研修 5 日目、アメリカ研修は早くも後半戦に入りました。朝の集合時間には続々と生徒が登校してきました。やや複雑なニューヨークの公共交通機関を理解し、使いこなし始めています。1 組、バスで通学している男子のペアが、故障か何かで途中バスを降ろされてしまい、登校が遅くなりました。こういったトラブルが比較的多いのもニューヨークの公共交通機関の特徴ではあります。今回のように避けようがないケースもありますが、もし授業に影響してしまうと非常にもったいないことなので、明日はもう少し早く家を出てみることを 2 人と確認しました。

英語クラスも今日が 3 日目です。2 日目の様子を記した日記から、初日のとまどいから確実に進化し、先生の言っていることが理解できたり、留学生とのコミュニケーションレベルが確実に上がっていることを実感している生徒が多いようです。ホームステイについても同様で、お土産なども使いながら長い時間交流し、非常に盛り上がったという喜びを綴る生徒が多く見受けられました。一方で、やはりリアクションや意見をしっかり発信するという部分においては課題を感じている生徒もいます。周囲の目を気にしてしまう、失敗をするのが怖い、そもそも何も頭に浮かんでこない、など。しかし昨日のミーティングで、今がまさに恐れを捨て、行動すべき時であることを強く感じています。「絶対に負けない、絶対に成長して帰る」記された生徒の強い決意に、胸が打たれました。

午後はコロンビア大学を訪問しました。マンハッタン島の北側まで、約 50 分弱をかけての地下鉄移動となりましたが、昨日までと明らかに違うのは生徒達が自分でしっかり周囲を確認し、乗換駅や降車駅を確認していることでした。誰かに連れて行ってもらうのではなく、自分達で創り上げる研修。そんな意識を感じさせる行動が目に見えて現れていました。順調にコロンビア大学に到着し、ランチを取ってからキャンパスツアーのスタートとなりました。

キャンパスツアーは、現役のコロンビア大学生 3 名にお越しいただき、3 グループに分かれて実施しました。ベトナム人の Rin さん、日本人ながら育ちは完全にアメリカボストンの Rika さん、同じく日本人ながらアメリカ育ちの、これまでもアクティビティリーダーとして何度か研修をサポートしてくれている Nike さんの 3 人です。ここにさらにアクティビティリーダーでコロンビア大学を卒業した Kevin さんとその友人のお 2 人も遊びに来て下さり、とても豪華な見学となりました。ここまで万全の環境がある中で、あと求められるものは生徒の姿勢のみです。今まで寵っていた殻を、悔しさをバネにどこまで打ち破ってくれるか、こちら祈るような気持ちでしたが、果たしてツアーがスタートするとしっかり学生に食らいつき、一所懸命に質問を投げかける姿がありました。Rika さんと Nike さんは日本語も OK だったのですが、自然と皆が英語を使っていました。もちろん、質問をすることそのものが素晴らしいのではなく、自分のまだ知らないことを知るゲストの方に興味を持ち、その話に対して思考し疑問や知りたいことを投げかける生き活きとした姿が輝いて見えました。分厚く重たい何かに抑圧されたような雰囲気はふっと抜けて、生徒の持つ良い力が静かに湧いてくるような午後でした。学生ゲストの「楽しかったです」という言葉が象徴的だったと思います。いよいよカウントダウンが始まったアメリカ研修。この調子でもっと前のめりで進んで行って欲しいと思います。以上、研修 5 日目の報告と致します。



コロンビア大学訪問



コロンビア大学生によるキャンパスツアー①



コロンビア大学生によるキャンパスツアー②



コロンビア大学生によるキャンパスツアー③



コロンビア大学生によるキャンパスツアー④



コロンビア大学生によるキャンパスツアー⑤



コロンビア大学生によるキャンパスツアー⑥（映画スパイダーマンにも登場した教室）



コロンビア大学生によるキャンパスツアー⑦（映画スパイダーマンにも登場した教室）



コロンビア大学生によるキャンパスツアー⑧（映画スパイダーマンにも登場した教室）



コロンビア大学生との集合写真